

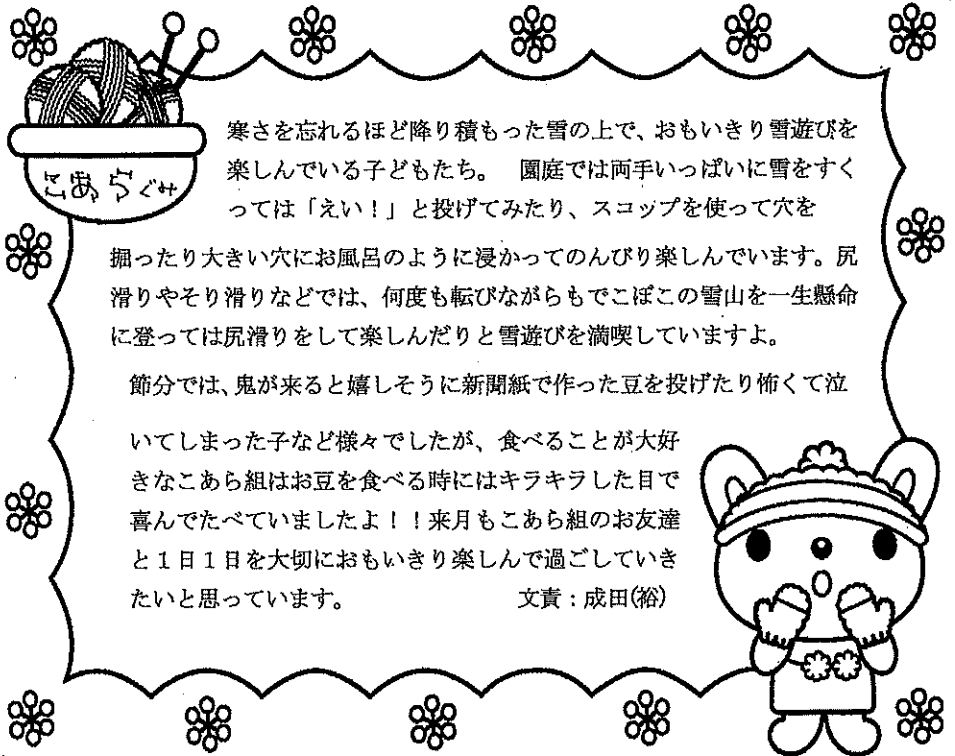
# 保育舎だより

平成 29 年 2 月 28

雪の舞う本格的な寒さが続き、例年よりも積雪量が多く辛い冬でしたが、ふと気付くといつの間にか日が長くなり、その穏やかな日差しの中にどこか春の足音を感じるこの頃です。

新しい春に向けて希望を膨らませる子どもたちの気持ちを大人の焦りから叱ったり、急がせたりしてしまぼせてしまってる事はないでしょうか？平凡なことのように、一人ひとりの子どもの気持ち、言葉と共感し合えるような一日一日の生活を大切にしていきたいことを園でも心掛けていきます。寒さの中でも春への準備をひそかにしている木々の葉のように、子どもたちの中にも進級への期待と準備を育むような活動をしていきたいと思ひます。

文責 石垣



寒さを忘れるほど降り積もった雪の上で、おもいきり雪遊びを楽しんでいる子どもたち。園庭では両手いっぱい雪をすくっては「えい！」と投げてみたり、スコップを使って穴を

掘ったり大きい穴にお風呂のように浸かってのんびり楽しんでいます。尻滑りやそり滑りなどでは、何度も転びながらもでこぼこの雪山を一生懸命に登っては尻滑りをして楽しんだり雪遊びを満喫していますよ。

節分では、鬼が来ると嬉しそうに新聞紙で作った豆を投げたり怖くて泣

いてしまった子など様々でしたが、食べるのが大好きなこあら組はお豆を食べる時にはキラキラした目で喜んで食べていましたよ！！来月もこあら組のお友達と1日1日を大切におもいきり楽しんで過ごしていきたいと思っています。

文責：成田(裕)



冷え込むことが多く外へ出ると頬を赤くする子どもたち。りす組は2月もたくさん戸外へ

\* 出ました。そりに乗り園の周りを散歩へ行こうとしたり、そりに仰向けで乗る子、2人乗りで座る子、皆乗っている姿がとっても可愛いのですよ。園庭では保育士の膝に座り一緒に滑ります。高月歯令のお友だちは自分で雪山に登り、1人でお尻滑りを楽しみました。こあら組と過ごす高月歯令の子どもたちは

\* 友だちを意識し名前を呼び合ったり、遊びの中に入ったりすることが増えてきた。低月歯令の子どもたちもお互い顔と顔を近づけ興味津々です。

\* 今年度も残り1ヶ月！楽しく過ごしていきたいですね。

文責：菅野

2月は節分がありました。事前に「もしも鬼が来たらかうしようか？」とみんな真剣に考え、お部屋で豆に見立てた玉を投げてみるなど、準備万端で臨んだうさぎさん。鬼の登場に、ちょっぴりドキドキしながらも力強く玉をぶつけることができましたよ！！

テラスでは、氷作り第2弾!! 今回は絵の具を入れて色をつけました。テラスに出て氷になったことを喜んで子どもたちでしたが、その日は気温が高くて色水に...「あたたかかったからね」という一言に首をかしげながら、自分の指でツンツンさわり、確かめていましたよ。

進級まであと1ヶ月ということで、少しずつ幼児さんになることを意識しているうさぎさん。昼食の前には「おしぼりしぼりを始めました。手に力を入れようとすると、顔がこわばったり、目を見開いたり...そんな顔を見合わせて、お友達と笑い合うなど、楽しく取り組んでいます！3月もいろいろな事を吸収し、自信を持って過ごせるようにしていきたいと思ひます。〈文責：植松〉